

第三次十日町市総合計画 前期基本計画（案）に対する審議会委員の意見集約表

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
1	-	全体	川崎委員	基本構想（案）の際にも、分かりやすくしてほしいと意見させていただきましたが、カタカナ用語、専門用語がどんどん出てきて、その度に意味を調べる作業をしました。回答では、 今後資料編として用語解説を載せるということですが、できれば、そのページに注釈があるとうりがない と思いますので、検討をお願いします。	○	①	市民に伝わりやすい表現を使用し、掲載方法を工夫しながら計画を策定していただきたい。
2	-	全体	宮澤委員	表現の仕方で、「推進します」「取り組みます」「支援します」とパターンがあります。「推進します」は自治体を中心に推し進めていくということですが、「支援します」という時に 具体性がないと感じます。何を支援するのか具体的に記載されていると良い と思いました。	○	①	〃
3	1 人にやさしいまちづくり	No. 1 「こどもまんなか社会」の実現を目指して	高橋委員	安心してこどもを産み育てられるまちで、 こどもまんなか社会という中で、一番大事にしなければいけないのは、18歳から30歳くらいまでのここで生きている人達なのではないかと思っています。実際に我が家の息子は21歳と22歳で、実家で暮らし、市内で働いています。しかし、あの子達の思いはものすごく、それが一切知られない状況です。転出しないためにも、こども達の思いをしっかりと聞いていただけると良い と思います。	○	②	安心してこどもを産み育てられるまちとなるよう、こどもや若者、子育て世代の意見が反映される取組を進めていただきたい。
4		No. 2 切れ目のない子育て支援	福嶋委員	5年生、6年生はひとり親家庭でも共働き家庭でも、希望しても十日町市は4年生までということで、家で留守番している家庭もあります。大きくなってから、大きくなってからこそ危険が男女問わずあると思います。 女性は働きに出ていると遅くまで仕事をされる方も結構増えていますので、安心してこどもを預けられるところがないと、女性も男性も安心して仕事ができなく、やさしいまちづくりに合っていないのかな と思います。今後、これからの危険を踏まえて考えていただけたらと思いました。	○	③	子育て世代が安心して就労できるよう、放課後児童クラブ等の充実を図っていただきたい。
5		No. 5 学校教育の充実	川崎委員	「居心地の良い学級づくりを核として」という表現があり、それが学力向上と不登校・いじめの減少との関係で大事だと読み取れるわけでは、 しかし、ここに記述されている内容としては、学力の向上については、効果はあるようだが、いじめ・不登校については、書かれていませんが、回答としてはそれが基礎にあるとなっています。基礎にあるようであれば、やはり大事なことなので書くべきであると思います。	○	④	「居心地の良い学級づくり」を通して、学力の向上や不登校・いじめの減少に努めていただきたい。
6		No. 5 学校教育の充実	川崎委員	まちづくり指標について。項目が3つあり、3つ目に、先ほど話しました 居心地の良い学級づくりに関係する「学校で楽しく過ごしていると感じるこどもの割合」となっています。基本方針は人にやさしいまちづくりでありますので、この3つ目の項目を1番目とすることが良いのでは と思います。まちづくりが学校で言う学級づくりであり、人にやさしい学級づくりになると思います。 ※まちづくり指標 ・全国学力・学習状況調査の平均正答率の当市と全国の差 ・授業にICTを活用して指導できる教職員の割合 ・「学校で楽しく過ごしている」と感じるこどもの割合	○	④	〃

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
7		No. 8 福祉のまちづくりの推進	高橋委員	<p>施策方針にある「すべて」に違和感があります。そんなことできないよという私の気持ちが違和感を生んだと思いますが、他の施策の『すべて』は納得できますが、ここだけは違和感がありました。</p> <p>※施策の方針「すべての市民が地域で安心して生活できるよう、地域で支え合い、個人の尊厳が守られる体制づくりを推進します。また、市民の生活課題に対応する相談支援体制の充実を図ります。」</p>	-	-	-
8		No. 9 高齢者福祉と介護サービスの充実	宋戸会長	<p>「人生の最期まで」という、何故あえて人生の最期、またこの字を使っているのか、でもあえて使う意味や理由があると思います。市民の方にもきちんと自分の人生を考えてほしいという意味やメッセージを込めての人生の最期という文言の用い方であれば良いのですが、理屈がないようでしたら、再考をお願いしたいと思います。</p> <p>※施策の方針「高齢者が住み慣れた地域で人生の最期まで、自分らしい暮らしを続けることができるよう、生きがいづくりや生活支援をはじめとした各種サービスの充実を図ります。」</p>	-	-	-
9		No. 11 健康づくりの推進	高橋委員	<p>自殺のリスクが高い人に対して、「関係機関と連携しながら」と記載がありますが、連携は可能なものではないでしょうか。起きたことに対して対策するよりも起きないように対策をしていくことの方が大事であると思います。</p> <p>※施策の展開 3②「自殺の多い世代や自殺のリスクが高い人に対し、関係機関と連携しながら、生きることへの包括的支援を推進します。」</p>	○	⑤	こころの健康に対して、未然防止の対策を進めるとともに、各種関係機関との一層の連携強化により、健康づくりを推進していただきたい。
10		No. 11 健康づくりの推進	佐野委員	<p>50人以上の規模の会社には産業医の選任が義務付けられ、働く人の健康を守っています。</p> <p>医師会や労働基準監督署、事業者団体から構成される十日町地域産業保健センターは、労働者50名未満の小規模事業所やそこで働く人を対象に労働安全衛生法に定められた保健指導などの産業保健サービスを提供しています。小規模企業の多い当地域の労働者の健康づくり推進のため、更なる連携・協力が必要であると考えます。</p>	○	⑤	〃

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
11	2 活力ある元気なまちづくり	No. 14 地域資源を活用した文化観光の推進	高橋委員	「祭り」は私たち市民にとって素晴らしい資源であると思います。私は川西の千手に住んでおりますが、千手のお祭りが昨年以上に大変賑わっていました。私はインスタグラムの撮影をしています、多くの人たちを撮影している中には観光で来られた方もいらっしゃいました。お祭りを楽しむ、見に来るといふ観光は素晴らしいことだと思います。十日町おまつりも見に行き、エネルギーをもらいましたが、この地域の人たちはお祭りを盛り上げようと頑張ってもらっています。ただ、自分達で頑張るのが精一杯で、他の人たちに来て欲しいことを考えることができていません。です、 お祭りをPRして人を集めるということをやっただけだと思ひます。	○	⑥	地域の祭りをはじめとした伝統行事などの地域資源を生かした観光振興を一層推進していただきたい。また、インバウンド向けの滞在型・体験型観光の取組を進めるとともに、オーバーツーリズムの未然防止に取り組み、持続可能な観光の推進につなげていただきたい。
12		No. 14 地域資源を活用した文化観光の推進	宍戸会長	インバウンドによる観光公害が問題になっていると思います。十日町はとも魅力があります、潜在力もあります、延びる可能性があります。その時になって対応が遅れることがないようにすべきと思います。持続可能な観光の推進です、市民の方もインバウンドのお客さんも共に楽しんで観光交流していただきたいと思ひますので、 観光公害の対策について、今から準備すべきと思ひます ので、そのことを書き込めたら良いと思ひます。	○	⑥	〃
13		No. 16 移住・定住の促進	宍戸会長	どの自治体も来てもらうための移住に関する補助金や相談窓口があります。そこで終わってしまい、 5年経ったら転出してしまふことがないよう、5年、場合によっては10年くらい伴走支援の取組みや、定着していただけるような施策を引き続き行うことが必要であると思ひます。	○	⑦	移住支援に加え、移住者の定住を促進するため、引き続き伴走型の支援に努めていただきたい。
14		No. 15 文化観光の推進による地域ビジネスの活性化	根津委員	空き地・空き家を活用して、長期滞在型のインバウンドを増やすために、例えば大地の芸術祭の芸術家を移住促進するような取組みはいかがでしょうか。芸術家を住まわせて、その芸術家のファンを増やす、そうすることでもっと人が集まるのではと思ひています。 また、雪や着物、縄文など十日町には色んな文化があり、キルトや石彫などもあります。こうした 魅力 を長期滞在型のインバウンドの人に見せるような活用の仕方も良いのではと思ひます。文化財バンクのようなものを作っておいて、インバウンドの人に希望する内容を体験させるようなことがあると、色んな人が十日町に来てくれることに繋がると思ひます。	○	⑥	No. 11と同じ
15		No. 17 中心市街地活性化の推進			○	⑥	〃

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
16		No. 17 中心市街地活性化の推進	加納委員	<p>施策の方針として、1つは賑わいのある魅力あるまちづくりの創設と、もう1つは中心市街地の活性化の2つあると思います。課題の中でも人口減少や消費スタイルの変化などで、空き地・空き家・空き店舗が増加しており、それらの対策が必要であると謳っております。また、施策の展開でも、さらなる賑わいの創設などが記載されていますが、まちづくり指標については、「文化・活動施設の利用者数」のみとなっています。この空き地・空き家・空き店舗の民間事業者の支援なども記載されていますので、このことについて指標として設定した方が、後々の検証などでもできるのではと考えます。</p> <p>※施策の方針「市民の交流・活動の場となっているまちなかの拠点施設を最大限活用し、にぎわいに満ちた魅力あるまちを創造する取り組みを推進します。また、空き地・空き家・空き店舗の利活用について、民間活力の導入や民間事業者への支援など、中心市街地の活性化を推進します。」</p>	○	⑧	中心市街地活性化の必要性を明示するとともに、施策効果を検証するための適切な指標を設定し、実効性のある施策を展開していただきたい。
17		No. 17 中心市街地活性化の推進	宍戸会長	<p>なぜ中心市街地の活性化が必要なのかということ盛り込むべきだと思います。現状と課題の欄などに、中心市街地を市としてもバックアップしていく、支援していくとあっても「何で」となる。これは他の自治体と差別化する意味で重要です。これがないと実際に中心市街地が賑やかになることが難しいと思います。十日町市として、なぜ中心市街地の活性化が大事なのかということ、今一度明示しておく必要があると思います。</p>	○	⑧	〃
18		No. 19 経営基盤の強化・生産基盤の整備	宍戸会長	<p>まちづくり指標では、ほ場整備の着工面積とありますが、この施策は経営基盤の強化として目玉はスマート農業であると思います。であれば、まちづくり指標にスマート農業に関する指標を加えたらと思います。例えば、スマート農業の導入率など。そもそもスマート農業とは何かということも定義付けが必要だと思います。これをもとにして、市内の農家がどのくらいスマート農業を導入しているのか、率を示すのも一つの指標として測れると思います。</p>	○	⑨	農業の経営基盤の強化が図られるよう、適切な指標を設定し、実効性のある施策を展開していただきたい。

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
19		No. 22 地域産業を担う人材の確保・育成	川崎委員	<p>「施策の展開 1. 若者人材の確保」では、中学生、高校生を対象に具体的な例として、まちの産業発見塾という事業を中心にして、キャリア教育を充実することとしていますが、小学生が入っていないのはどうしてかと質問させていただきました。何故かと言いますと、小学生も大事であると思っています。5年生の社会科で産業学習があります。この産業学習で地元をはじめとして近隣の色々なところを学習しながら産業を学んでいくという学習があります。さらには産業という観点からでは、3年生・4年生でもそれに関わる社会科の学習があります。地元の素晴らしい生き方をしている方々から学ぶことができると、子どもたちにとって、地元愛に繋がる学習になる可能性が大きいと思っています。そうした学習が子どもの心の中に強い郷土愛として芽生え、将来自分の進学校、進路を決めていく大きな基になっていくと思っています。急には無理かもしれませんが、まちの産業発見塾以外で、小学生を含めた中で、進路指導というキャリア教育を考えていただけるとありがたいです。新潟県では、郷土愛を含めたキャリア教育ということを県の教育委員会では考えていると聞いたことがあります。このような観点で小学生も含めてお願いします。</p>	○	⑩	小学生の段階から地元の産業に触れるキャリア教育の充実を図り、郷土愛の醸成による将来のＵターンを促進するとともに、多様な働き方を受け入れる体制整備やＤＸの推進による働きやすい環境整備を通じ、若者人材の確保・育成と市内産業の振興につなげていただきたい。
20		No. 22 地域産業を担う人材の確保・育成	井口委員	<p>ここでは外国人材の確保のことについて触れられています。前回の基本構想の時にも意見としてお話をさせていただいたことですが、まずは多様な働き方を受け入れて、障がい者や高齢者、働くことに制約があるひとり親世帯など、そういった方の受け入れの体制を整備することが肝要であると考えます。あわせて、「施策 24 地域産業の新しい展開 施策の展開 3. A I ・ I C T の活用拡大支援」がありますが、まさにこれが多様な働き方を進めるための起爆剤になるものです。いわゆるＤＸ化を進めることによって、例えば在宅で仕事ができる、生産性が向上するなど、また、設備投資など機械を導入することによって、力仕事が減って、高齢者の方でも働きやすくなるなど。建設会社では今まで現場に行く時には、事務所に寄って点呼を受けてから現場に向かう、また帰って来てから日報を作成するといった無駄な時間がありましたが、ＤＸ化を進めることで、出勤管理や日報の管理など、全てパソコン上のできるので、事務所に寄らなくても現場に直行・直帰でも仕事が回る。働く時間を集約することで、短時間で働きたいという方も管理できるようになり、働きやすくなってくることにもつながります。どの施策に落とし込むのが良いか悩みましたが、施策 22 に外国人の対策だけでなく、多様な働き方の推進という面もご検討いただきたいと思います。</p>	○	⑩	〃

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
21		No. 22 地域産業を担う人材の確保・育成	加納委員	<p>現状と課題に、高校卒業後の進学率の上昇と就職者数の減少、一方で地元就職率は上昇傾向にあるということで、指標にも高校生の地元就職率とされています。私は、高校卒業後の地元就職ということを否定するつもりは全くありませんが、高校卒業後の進学率が上昇している現実の中で、一回出た人が帰ってくるのも非常に大事なことであります。そうした中で、高校生の地元就職率というものを指標としていくことが本当に良いのか疑問に思っているところです。</p> <p>※まちづくり指標 ・高校生地元就職率 現状値：56.1% 目標値：60.0% ・外国人労働者数（十日町市・津南町） 現状値：371人 目標値：550人</p>	○	⑩	〃
22		No. 22 地域産業を担う人材の確保・育成	宍戸会長	<p>よそ者から見ると、十日町市は高校生を外に出さないのかというようなメッセージにも受け止められます。加納委員おっしゃったように、例えば高校卒業して就職や進学で一旦外に出るかもしれませんが、十日町に帰ってからで良いんです。むしろその捉え方で、川崎委員からもご意見がありました、小学生も含めた郷土愛、まちの産業発見塾が実を結んで、高校卒業して一旦外に出たとしても数年後に帰って来て十日町で働いてもらう。そうした指標のほうが良いのではと思います。</p>	○	⑩	〃
23		No. 24 地域産業の新しい展開	宍戸会長	<p>施策の方針では、M&Aを柱として掲げており、施策の展開でも記載されています。指標にもM&Aを測れるものとして入れられないでしょうか。係数なのか率なのか、判断を迷うところではありますが、担当課でも検討いただきたいと思います。他の自治体のM&Aを測る指標を参考に、落とし込むのも一つの方法と思います。</p> <p>※施策の方針「新規創業を目指す事業者などの支援に加え、企業の積極的な誘致、事業拡大に向けたM&A、A I や I C T の活用によるD X の推進に向けた取組を支援することで、地域産業の新たな展開を目指します。」</p>	○	⑪	地域産業の新しい展開が図られるよう、適切な指標を設定し、実効性のある施策を展開していただきたい。

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
24		施策No. 26 文化芸術活動の充実	根津委員	部活動の地域移行に伴って、十日町市の中学校の吹奏楽は非常に大変な状況になっています。スポーツについては、先ほど説明がありましたように、担い手やコーチがいてそこに中学生も集まっていますが、これまで全て学校でしていたことが、地域移行となると、段十郎などへの子どもたちの送迎に係る保護者負担など、様々な問題が出てきているようです。こうしたことに市の支援が必要なのではないかと思います。文化協会には音楽の活動をしている団体が多くあります。それは中学校などで吹奏楽をやってきた人たちが多くいたためと思っています。十日町市の吹奏楽を継続していくために生涯学習課など色んな部署と一緒に支援していくような体制が作れればと思います。	○	⑫	将来の文化・音楽活動の基盤につながる中学校の部活動の地域移行への支援を強化するとともに、地域の伝統芸能活動が継続できるよう、関係部署と連携した支援体制を整備していただきたい。
25		No. 26 文化芸術活動の充実	高橋委員	現状と課題で、「少子高齢化に伴い、芸術活動が継続できない状況が生じています。」とあります。私は千手露香に所属しており、踊りをしていますが、当会も高齢化が進み、70代80代がほとんどで私が最年少の50歳です。市からの支援もありますが、皆さんにPRできないことと、千手露香が浸透していないこともあり、うまくいっていません。ですが、繋げるために、私は踊りの担当ですが、今は尺八を習っています。また踊っている方が三味線をやっているような状況です。名刺も作り、皆さんに声掛けはしますが、やりたいと思う気持ちがあるにも関わらず、若い人たちは皆さん忙しすぎる状況です。やりたいけど時間がないというのがお母さん世代の意見です。ここを何とか乗り切らないと、民謡協会や千手露香、十日町小唄を生演奏してくださっている皆さんもそうですが、繋がらないのではないかと思います。市の力で何とかここが上手く繋がるようにしていただきたいと思います。 ※現状と課題3点目「少子高齢化に伴い、文化芸術活動が継続できない状況が生じています。市民の文化的で豊かな生活のため、新たな活動を創出する必要があります。」	○	⑫	”
26		No. 26 文化芸術活動の充実	川崎委員	担い手不足であれば尚更若者に支援していく必要があると思います。「施策の展開3.文化芸術活動の支援」の①に初めて学校でどうするかという記述が出てきますが、この箇所に地域部活動の支援という文言を付け加えることができないでしょうか。付け加えることで、文化活動を部活動にフォーカスして支援するという姿勢を大きく示せるのではないかと思います。是非そのようにしていただくと良いと思います。「施策28スポーツの振興」について、現状と課題の下に写真が2枚あり、一つは、部活動の地域展開により始まった地域クラブ活動の写真です。スポーツ関係は地域展開をバックアップしていこうという動きがあるわけですので、文化活動についても同様に、施策26で同じような形に位置付けてほしいです。 ※施策の展開3①「小中学校等での文化芸術体験を推進するため、各種人材バンク等の情報提供機能を強化します。」	○	⑫	”

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
27		No. 28 スポーツの振興	川崎委員	左側の写真は何の写真でしょうか。分かる方はバスケットボールと思うかもしれませんが、そう思うのは全体のどのくらいの割合でしょうか。基本方針は、「活力ある元気なまちづくり」です。この写真に活力を感じるか、さらには、指標では「スポーツ施設の利用者数」で令和12年度ではかなり増えるよう目標値として掲げています。こうしたことも踏まえて、写真をもっと活力あるものに変えたほうが良いのではないのでしょうか。	-	-	-
28	3 安全・安心なまちづくり	No. 29 防災対策の推進	加納委員	<p>施策の方針に、「防災ＤＸの推進による防災対策や国土強靱化を踏まえたインフラ整備を進めます。」とありますが、指標では、これに関するものが位置づけられておりません。指標の設定がないと取組がどこまで進んだのか分かりませんので、ご検討いただきたいと思います。また、インフラ整備と言うと幅広くなりますので、このことも含めご検討いただければと思います。</p> <p>※まちづくり指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織等の防災訓練実施率 現状値：35.1% 目標値：50% ・ 「地区防災計画」策定団体数 現状値：22団体 目標値：100団体 ・ 防災士資格の取得者数 現状値：85人 目標値：200人 	○	⑬	防災対策及び防犯対策の推進が図られるよう、適切な指標を設定し、実効性のある施策を展開していただきたい。
29		No. 31 交通安全・防犯対策の推進	宮澤委員	<p>施策の方針に、「犯罪被害者を社会全体で支える体制づくりを進めます。」とあり、昨今の色んな詐欺などを踏まえて、指標に「消費生活講習会の実施回数」があり、この回数を増やすということですが、1回しか増えておらず、6年かけても変わっていないという印象です。見直しが必要ではないのでしょうか。</p> <p>※まちづくり指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十日町警察署館内の交通事故による死傷者数 現状値：37件 目標値：30件以下 ・ 十日町警察署管内の刑法犯発生件数 現状値：163件 目標値：130件以下 ・ 消費生活講習会の実施回数 現状値：11回 目標値：12回 	○	⑬	〃
30		施策No. 32 ゼロカーボンシティ・資源循環型社会の推進	宍戸会長	指標では、現状19.9%、目標21.7%とあります。何らかの数式に基づいて算出した数字と思いますが、計画に載せる目標としては、「整数」あるいは「.5」にするべきです。この施策32に限ったものではなく、全体を通して、「km」や「箇所」などの実数は仕方ありませんが、「%」で示されるものは、できれば「整数」や「.5」でまとめた方がまさに目標になるのではないかと思います。	-	-	-

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
31		No. 36 持続可能な上下水道事業の推進	加納委員	<p>上下水道のこの指標は重要なものと認識しているところですが、近年、管路の腐食に伴う道路陥没などが非常に大きな社会問題となっており、施設の老朽化対策や耐震化などは大きな課題と考えております。そうした中で、指標としては、耐震化率や老朽化施設の更新数、施設の統合数などが1つあっても良いのではと思います。</p> <p>※まちづくり指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道料金回収率 現状値：97.3% 目標値：90%以上 ・下水道経費回収率 現状値81.0% 目標値：80%以上 	○	⑭	持続可能な上下水道事業及び計画的な土地利用の推進が図られるよう、適切な指標を設定し、実効性のある施策を展開していただきたい。
32		No. 36 持続可能な上下水道事業の推進	宍戸会長	<p>目標値が90%以上、80%以上となっていますが、確かに説明のとおり、国の補助の関係もあるかもしれませんが、しかし、市民に対してのメッセージとして、現状値よりも低い数値というのはいかがなものかと思えます。間違ったメッセージを与えるのではと危惧されます。ですので、ここでの目標値は、「現状値を上回る」とすべきであり、意見として申し上げます。</p>	○	⑭	〃
33		No. 39 計画的な土地利用の推進	宮澤委員	<p>施策の方針では、「適正な土地利用に必要な地籍の確定を進めます。」とあり、施策の展開2に、具体的に「調査をします」と記載されています。一方、施策の展開1には、「「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を推進します」と記載されていますが、具体的な指標に何も表れていませんので、検討していただきたい。</p> <p>※まちづくり指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松代・松之山地域の地籍調査実施面積 現状値：1.1km² 目標値：2.5km² ・十日町地域の地籍調査実施面積 現状値：80.6km² 目標値：82.0km² 	○	⑭	〃

No.	基本方針	施策	意見者	委員の意見	答申への掲載	答申箇所	答申内容
34		No. 40 持続可能な除雪体制の確保	川崎委員	<p>雪が降り、大変なのですが、この地に住み続けるには色々対応していかなければいけないという話が審議会の冒頭からありました。この指標の流雪溝整備は、住みやすいまちのために大事なことであると思っています。しかし、現状値から目標値にかけて、延長距離にすると3km、整備率にすると約2%となっています。これで良いのかという言い方はおかしいですが、積極的に推進しようとしての数値なのかが疑問に思うところです。様々な事情があると思いますが、もっと整備を進められないかという思いであります。</p> <p>※まちづくり指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 消雪パイプ更新井戸数 現状値：88本 目標値：122本 流雪溝整備延長（十日町・川西地域） 現状値：92.6km 目標値：95.6km 	○	⑮	持続可能な除雪体制の確保及び克雪住宅の普及促進が図られるよう、適切な指標を設定し、実効性のある施策を展開していただきたい。また、雪をエネルギーとして活用する新たな研究・検討に取り組んでいただきたい。
35		No. 41 市民のくらしを支える雪処理支援の充実と利雪親雪の促進	穴戸会長	<p>指標の目標値が「999棟」となっていますが、「1,000棟」にできませんか。その方がよりキャッチーな目標になると思いますので、ご検討をお願いしたいと思います。</p> <p>※まちづくり指標</p> <p>既存住宅の克雪化改良棟数 現状値：939棟 目標値：999棟</p>	○	⑮	〃
36		No. 41 市民のくらしを支える雪処理支援の充実と利雪親雪の促進	川崎委員	<p>雪をエネルギーとして利用するというのが、「施策41 市民のくらしを支える雪処理支援の充実と利雪親雪の促進」の方針にあります。色々調べていましたら、雪の発電があるという話を聞きました。青森の方では積雪発電をされていましたが、上手くいかず、名称を変えて、雪発電として取り組んでいるようです。いっぱいある雪をエネルギーとして使っていくという非常に魅力的な話だと思います。そうした研究もされてみたかどうかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>※施策の方針「克雪住宅の普及促進、高齢化集落や要援護世帯への除排雪援助など、市民のくらしを支える雪処理支援の充実を図ります。また、雪は貴重な資源であることから、雪エネルギーの利用促進や雪を使ったイベントの充実を図るなど、利雪親雪の取り組みを進めます。」</p>	○	⑮	〃
37	4 協働と共創のまちづくり	No. 44 市民活動の推進	根津委員	<p>指標には、寄附金の寄付額を増やすことになっていますが、施策の展開2. ①では、「寄附金を活用し、NPO法人の活動を支援します。」とあります。活用だけでこの指標の設定はいかがなものかと思いました。寄附金を「こうして増やす」というように施策の展開に記載されていれば、この指標と直結して分かります。</p> <p>※まちづくり指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動相談窓口（ひとサポ）の対応件数 現状値：44件 目標値：50件 NPO活動支援交付金の原資となるとおままち 応援寄附金の寄付額 現状値12,335千円 目標値18,000千円 地区公民館の市民センター化の件数 現状値：0件 目標値：3件 	○	⑯	市民活動のさらなる推進のため、寄附金の活用方法だけでなく、寄附金を増やす具体的な取組を明示することにより、指標との整合性を高め、施策の効果が明確になるよう取り組んでいただきたい。